Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

東山花灯路（清水寺）

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2019年３月26日　34号
2019年３月19日　第２例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
3．来賓紹介　稲野邉会長
4．幹事報告　高 野 幹 事
5．委員会報告
6．結婚記念月のご紹介　親睦活動委員会
7．ニコニコボックス発表　楢戸副ＳＡＡ
8．出席状況報告　出席委員会
9．来賓卓話
一般社団法人土浦青年会議所
理事長　猪瀬正幹様
10．点　　鐘　稲野邉会長
11．ロータリーソング斉唱
（我等の生業）

（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
土浦南ＲＡＣ会長 笠井陵平君，鹿志村諒君より活動報告を伺います。

次週のプログラム
４月２日(火)は，めぶき証券 つくば支店長 大野智昭様によります来賓卓話でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	３名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
94	64	7	69.57	2	5・7・8・9	8	78.26

【委員会報告】

地区大会参加についてのお知らせ

阿　部　　彰　副幹事

地区大会についてご説明致します。日時は4月21日(日),場所は茨城県民文化センターです。バスをご用意しております。ご利用の方は7:30までに土浦駅西口・土浦市役所大屋根下へお願い致します。9:00開会で15:50閉会，16時より懇親会，土浦に戻りまして，南クラブの懇親会を考えておりますので，皆様のご参加を宜しくお願い致します。

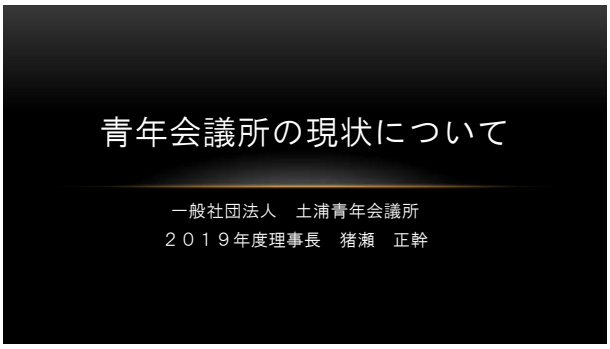
【来賓卓話】

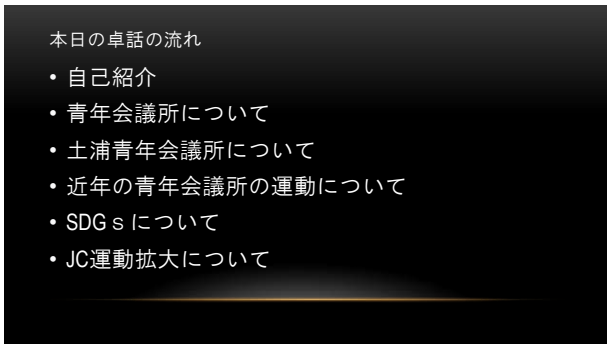
一般社団法人 土浦青年会議所
2019年度 理事長　猪　瀬　正　幹　様

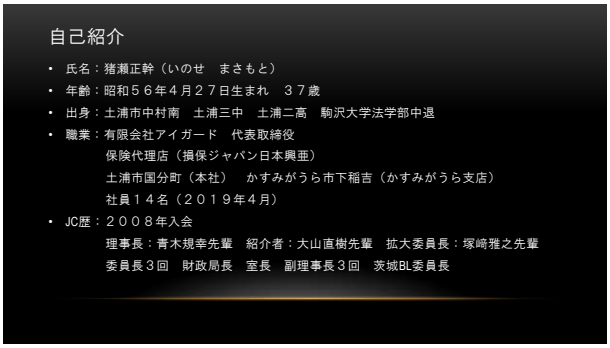
皆様，こんにちは。本日はこのような貴重な機会を頂きまして感謝・御礼申し上げます。せっかくお時間を頂きましたので私の方から「青年会議所の現状について」というテーマでお話をさせて頂きます。青年会議所においては昨年大きな変化があり，それらを皆様に周知して頂きたいと考えこのテーマを選ばせて頂きました。

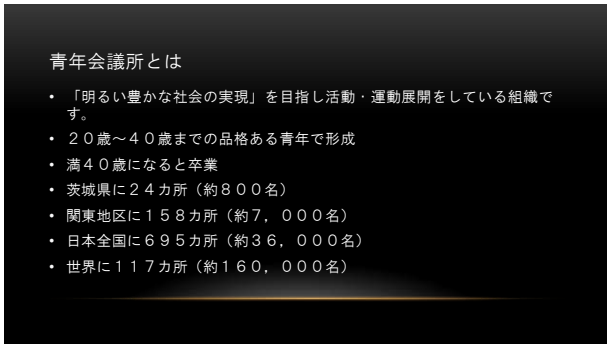
まず自己紹介から申し上げます。私は今年度第62代土浦青年会議所理事長を務めさせて頂いております。JC歴としましては，土浦南ロータリークラブの青木規幸先輩が理事長の時に入会しました。その時の紹介者が大山直樹先輩でございます。そして当時の拡大委員長が塚﨑雅之先輩でございました。

引き続きレジメに沿って進めさせて頂きます。

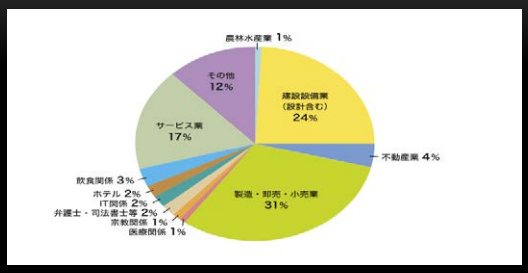




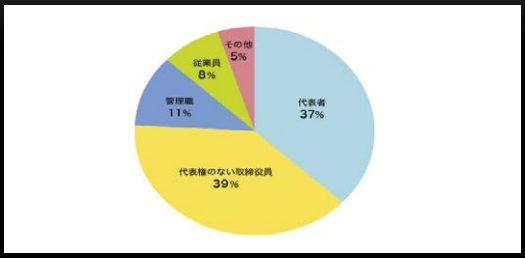




業種別会員割合



会社における立場の割合



創業者と継承者の割合

土浦青年会議所

- 昭和３３年創立（６２周年）
- メンバー数６９名（２０１９年１月）
  - ２０歳～２５歳＝０名
  - ２６歳～３０歳＝７名
  - ３１歳～３５歳＝１７名
  - ３６歳～４０歳＝４５名

土浦青年会議所（所属会員業種）

- 農業
- 建設業
- 製造業
- 自動車関連
- 銀行
- 保険
- リース・レンタル業
- 弁護士
- 司法書士
- 行政書士
- 飲食業
- 福祉事業
- 病院
- 産廃業
- お寺
- 葬祭業
- 国会議員
- 町会議員

土浦青年会議所２０１９年度

スローガン

「PRIDE～強動そして協働へ～」

・６２年の歴史にプライドを持ち、土浦青年会議所の運動を強く発信していく
・官民問わず協働していくことでより大きな発信と効果の発揮をしていく
・地域のリーダーとして人財の育成に努める

２０１９年度事業について

２０１９年度事業について

近年の青年会議所について

・これまではタブーとされていた「ビジネスの機会」の提供について日本本会の定款に追記された。

↓

仕事に繋がる

近年の青年会議所について

これまでの日本の考え方は、経済の発展が社会の発展になる（マネタリー経済）

↓

これからは社会の発展が経済の発展に繋がる（ボランタリー経済）

↓

社会との共感から生まれる価値がある（共感経済社会）

↓

CSRの重要性が大企業中心に浸透する（企業のイメージアップ等）

↓

グローバルスタンダードとしてSDGｓの推進が提唱されている

SDGSとは

- 持続可能な開発目標（SDGs）とは，2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます

【参考】持続可能な開発目標（SDGs）の概要

【参考】持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

目標1（貧困）	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2（飢餓）	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3（保健）	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4（教育）	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5（ジェンダー）	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6（水・衛生）	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7（エネルギー）	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8（経済成長と雇用）	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。
目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

SDGS推進

- （公社）日本青年会議所として日本一のSDGｓ推進団体を目指す
- 外務省との協定
- 全国の青年会議所でSDGｓを推進
- 世界基準の分かりやすい指標を持つことで組織の方向性をより明確化する
- 誰一人取り残さない豊かな社会の実現

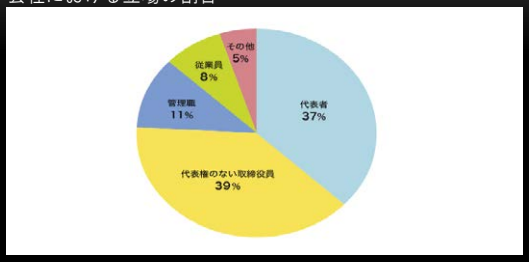
- 土浦青年会議所としても全事業でSDGｓの関連ポイントを明記して運動していく
- より地域社会に根差した組織としての発展を目指します

土浦青年会議所

- メンバー数６９名（２０１９年１月）
  - ２０歳～２５歳＝０名
  - ２６歳～３０歳＝７名
  - ３１歳～３５歳＝１７名
  - ３６歳～４０歳＝４５名
  - ２０１９年度卒業生２２名

創業者と継承者の割合

会社における立場の割合



検討事項

- 入会年齢の引き下げ（３９歳まで入会可）
- 入会金の引き下げ（３万円）
- 若年層の年会費引き下げ（１２万円）
- 同一会社から２名以降の会員の年会費引き下げ（１２万円）
- 配偶者の会費引き下げ（１２万円）
- 会費のカード払い
  （３月末までに振り込みor現金またはダイナースカード決済）

JC運動拡大について
会員拡大のお願い

一般社団法人　土浦青年会議所
２０１９年度　JC運動拡大委員会
委員長　中川　弘一郎

「会員拡大のお願い」

JC 運動拡大委員会委員長・中　川　弘一郎　様

土浦青年会議所では現在会員数が非常に厳しい状況です。今年 22 名が卒業ということで本当に会員拡大が急務となっております。その中でいろいろなことを考えておりますが，本年 8 月 6 日に入会候補者オリエンテーションと異業種交流会を同時に開催致しまして，一人でも多くの皆様に参加して頂けるような企画を致しました。

皆様には是非ご協力頂きまして，今年度しっかりと会員数を拡大して頑張っていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

土浦青年会議所の皆さん